

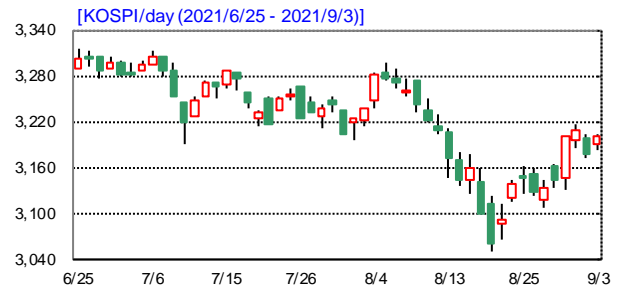


【韓国】 総合指数は週間で2.1%高と続伸、今週は米雇用統計と新型コロナに警戒

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.1%高と続伸。米FRB議長が量的緩和の縮小（テーパリング）について、予想よりも遅く実施するとの道筋を示したことで早期実施の観測が後退し、投資家の懸念が和らいで堅調に推移した。米株高や好調な輸出統計なども支援材料となって1日まで4営業日続伸し、心理的節目の3200ポイントを回復した。2日は米雇用統計の発表を前に利益確定売りが優勢となり反落したが、3日は米株高の流れを引き継いで反発した。海外投資家の買いも相場を支えた。今週は引き続き堅調か。先週末に発表された米雇用統計では非農業部門雇用者数が市場予想を大きく下回り、早期のテーパリング観測がさらに後退した。一方、国内での新型コロナ感染者数は増加しており、引き続き相場の懸念材料になる恐れもある。

▼指数チャート

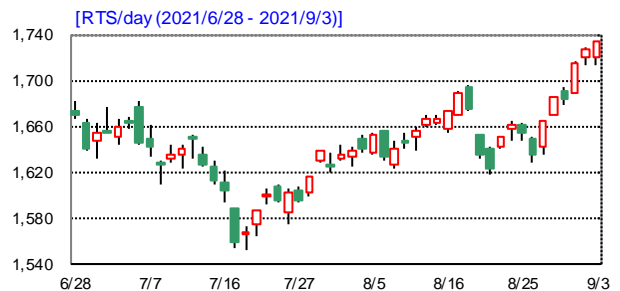


【ロシア】 RTS 指数は週間で4.2%高と大幅続伸、今週は力強い地合いが続くか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で4.2%高と大幅続伸。米金融緩和策の長期化見通しを背景にリスクセンチメントが改善する中、海外株高やルーブル高も支援となった。前週末にパウエルFRB議長が利上げを急がない姿勢を示したことで市場のセンチメントが改善。週明け30日のRTS指数は前週末比1.2%高と続伸。その後もアジア株高やルーブル高、米雇用統計の下振れを受けた早期のテーパリングに対する懸念の後退も指数を押し上げた。RTS指数は1734.16ドルの週間高値で終了し、9年半ぶりの水準を回復した。個別では、ダイヤモンド採鉱のアルロサが8.3%高、エネルギーのノバテックが6.8%高、ガスプロムが6.1%高と上昇した一方、鉄鋼のセヴェルスターリが5.0%安となった。今週は力強い地合いを背景に堅調な展開か。

▼指数チャート



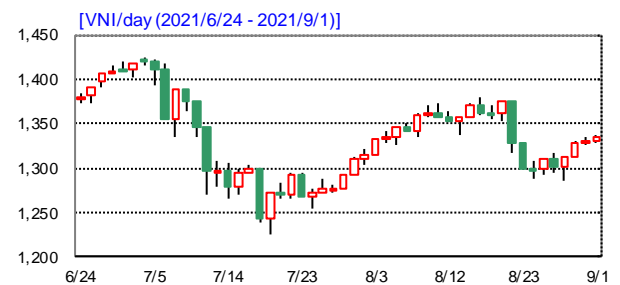
【ベトナム】 ベトナム指数は1.6%高と3週ぶり反発、今週はセンチメント改善で堅

調か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は1.6%高と3週ぶりに反発。海外勢の売り越しが続いたものの、国内勢の押し目買いで主力株が上昇した。先週は2、3日が休場で3日間の取引。週明け30日のVN指数は前週末比で1.1%高と続伸。前週末までの続落で主力株に対する国内勢の押し目買いが強まった。31日は金融株が利益確定売りに押されたが、新型コロナ感染拡大のピークアウト観測を背景にリスク選好が高まり、指数は0.3%上昇。週末の取引となった1日も0.2%高で終え、前週末から4日続伸となった。個別ではゴム製品のベトナム・ラバーが7.2%高、鉄鋼のホア・ファット・グループが3.4%高、金融のベトインバンクが2.9%高と上昇した一方、食品加工のマサン・グループが1.9%安となった。今週はリスクセンチメントの改善で堅調な値動きか。

▼指数チャート

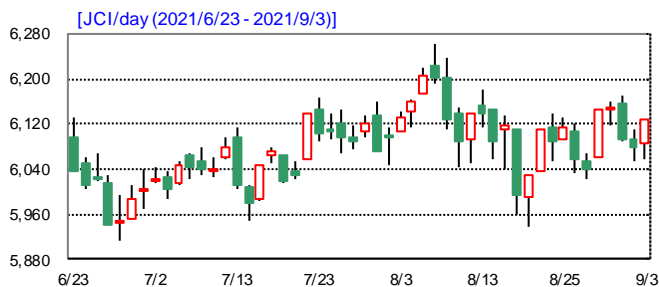


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%高、米国の早期利上げ観測後退が買い材料

ジャカルタ総合指数は週間で 1.4%高と続伸。8 月月間では 1.3%高。先週は前半の上昇が指数を押し上げた。週初の 30 日は、前週末のパウエル FRB 議長の講演を受けて、早期の利上げ観測が後退したことが好感され、指数は前営業日比 1.7%高と 3 日ぶりに反発。31 日も買い優勢の展開が続いたが、1 日は反動で売られ、前日比 1.0%安と反落した。2 日も買い材料に乏しく、エネルギー株などが売られて続落したが、3 日は前日の NY ダウが上昇した流れを引き継ぎ反発している。今週は 9 日に 7 月の小売売上高が発表される予定で、市場予想を上回れば好材料。外部要因では中国の 8 月の貿易統計が意識されそうだ。

▼指数チャート

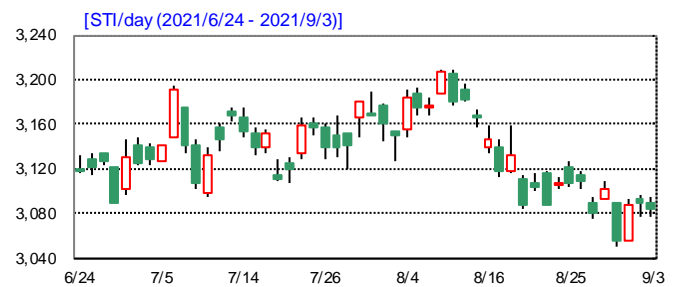


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.1%高、ワクチン 2 回接種率の 80%到達を好感

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.1%高と 4 週ぶりに小幅反発。8 月月間では 3.5%安。先週は週末の反落が上昇幅を縮めた。週初の 30 日は、ワクチンの 2 回接種率が国民の 80%に到達した効果で指数は反発。一方、31 日は中国の 8 月の公式製造業 PMI が前月の水準を下回った影響で、前日比 1.5%安と反落した。ただ、1 日に 1.1%上昇すると、2 日は小幅続伸。3 日は 8 月の製造業 PMI が 50.9 と前月から 0.1 ポイント低下したほか、7 月の小売売上高の伸びが前年同月比 0.2%にとどまったことが売り材料視され、3 日ぶりに反落している。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右する展開か。

▼指数チャート

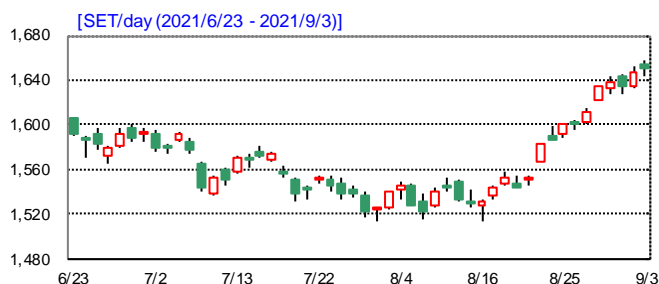


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.4%高、週末に終値で 2 年ぶりの高値を更新

SET 指数は週間で 2.4%高と 4 週続伸。8 月月間では 7.7%高。先週は好地合いが続く中、おおむね堅調な値動きだった。週初の 30 日は、7 月の鉱工業生産が前年同月比 5.1%増と市場予想から下振れしたものの、前週末の NY ダウが上昇した効果などで、指数は前営業日比 1.4%高と 7 日続伸。31 日も買い優勢の展開となったが、1 日は同日に始まった行動制限の一部緩和が買い材料視されず反落した。ただ、2 日は米ドル高パーツ安を受けて輸出関連銘柄が指数上昇をけん引すると、3 日は終値で 19 年 9 月以来の高値を更新して引けている。今週は 6 日の 8 月の CPI に続き、9 日には消費者信頼感指数が発表される予定。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.1%安、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.1%安と小幅ながら 4 週ぶりに反落。8 月月間では 7.1%高。先週は週末に反発したが、補えなかった。週初の 30 日は、政局リスクの低減を受けて 7 営業日続伸し、終値で 4 カ月ぶりに 1600 ポイントに到達。ただ、祝日を挟んだ 1 日は引け際に売られ、終値でこの水準を割り込むと、2 日は利益確定売りが進んだ影響で続落した。一方、3 日は反動で買い優勢となり、3 日ぶりに反発して引けている。今週は 9 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催するほか、10 日には 7 月の鉱工業生産が発表される予定で、市場予想から上振れすれば追い風になりそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。